

試合番号 : 385	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 1,823			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:33	試合時間 : 01:33			
主審 : 種元 桂子	副審 : 城 智人				
東レアローズ 通算 10勝 4敗 ポイント: 30		NECレッドロケッツ 通算 7勝 6敗 ポイント: 21			
監督コメント 先週、先週と土曜日の試合をストレート負けしており、またNECは底力を持っているので、試合の入り丁寧に取り組んだ。特にサーブでリズムを作り、テンポよくブレイクポイントを重ねることが良かった。しかし、第3セットでもリードしたところからミスが増え、自分達で苦しい場面を作ってしまった。まだまだサーブの連携、そしてセッターとアタッカーのコンビネーションはできていない。試合中に更にしつこい連携力を出すためにも、一人一人が丁寧にして確実にやるべきことをやる。金沢でのホームゲーム、本当に多くのご声援を頂き、誠にありがとうございます。	25	第1セット	21	0	監督コメント 前半からサーブで相手にプレッシャーをかけることはできていたと思うラリーが続いた時、オフェンスからの失点や要所でミドルブロッカーを活かせなかったのが敗因と感じる。課題は明確なので、明日の試合に向けてしっかり修正をかけていきたい。本日もたくさんのお客様ありがとうございました。引き続き応援よろしくお祈りします。
	25	第2セット	22		
	25	第3セット	21		
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームゲームで大喧嘩を受けた東レアローズがストレートでNECレッドロケッツに勝利した。第1セット、東はクランの打点の高いスパイクでリードを奪うと、黒後、石川の攻撃で得点を重ねた。NECは古賀、曾我のスパイクや途中交代で入ったトムシャのブロックで1点差まで迫るが一歩及ばず、東が第1セットを先取した。第2セットは、東が石川のスパイクや大野のブロックなど4連続得点によりリードする。NECはトムシャのスパイク、山田のブロック、荒谷のサービスエースの3連続得点などもあり、21-21と同点まで追いつくが、最後は東のクランと石川が続けてスパイクを決め、第2セットも連取した。第3セット、勢いづいた東は、石川、大野、クランが次々とスパイクを決めると、NECに隙を見せず勝利を決めた。					

試合番号 : 386	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 1,950			
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:19	試合時間 : 02:19			
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 森口 豊				
デンソーエアリービーズ 通算 11勝 2敗 ポイント: 31		PFUブルーキャッツ 通算 3勝 12敗 ポイント: 11			
監督コメント 今日多くの方にご来場頂けたことに深く感謝致します。ありがとうございました。試合の序盤は、デンソーが良く攻撃を仕掛けることが出来ましたが、相手のサーブに押されて自分達のリズムを崩されました。途中から入った選手の活躍がチームを盛り立てて、逆転することが出来ました。気持ちを切り替えて、また明日もスタートから攻める準備をしていきます。ご声援をカに明日も頑張ります。	25	第1セット	23	2	監督コメント 今日は試合を楽しむことが出来た。点数の取り方も良くなってきているが、勝ち切れなかったことがとても残念。こちらからミスを出すことなく、全ての時間帯で点数を取れるように、明日以降も頑張りたい。本日も沢山の応援を頂き、ありがとうございました。
	23	第2セット	25		
	11	第3セット	25		
	25	第4セット	14		
	15	第5セット	13		
要約レポート 先週に続く勝利を目指すPFUブルーキャッツが、フルセットの激闘の末、惜しくもデンソーエアリービーズに敗れた。第1セット、デンソーは鍋谷、工藤、シニアードの強打で得点を重ねる。PFUは堀口、和才を中心に攻撃するが、最後はデンソーが奥村のブロックでセットポイントを奪い、セットを先取した。第2セットはお互いに勢いに乗れず、もつれた展開となる。PFUは津賀と和才のライトからの攻撃が効果的に決まり、4連続得点を奪うとセットを取り返した。第3セット、PFUのサーブが冴え、堀口の3本のサービスエースを含む7連続得点を挙げ大きくリードすると、津賀、堀口のスパイクやドリスのブロックで着実に得点を重ね、セットを連取した。第4セット、デンソーは鍋谷と兵頭のスパイクで少しずつ点差を広げると、そのままセットを奪った。第5セット、デンソーは鍋谷、シニアードのスパイクでリードするが、PFUも踏ん張り、和才がスパイクを決め8-7で折り返す。終盤まで勝負が分らない中、デンソーが兵頭のスパイクで一歩抜け出し、勝利を決めた。					

試合番号 : 387	試合会場 : 加古川市立総合体育館	観客数 : 1,600			
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:18	試合時間 : 01:18			
主審 : グレグ ルーオー	副審 : 國頭 亮太				
JTマーヴェラス 通算 12勝 3敗 ポイント: 34		日立リヴァーレ 通算 4勝 11敗 ポイント: 15			
監督コメント 交流戦最終週、ホームゲームで勝利したい試合。相手の日立は佐藤のトスワークを軸とした精度の高いコンビをしてくるチーム。今日の戦いは、自分達のサーブとブロックを確認してスタートした。相手ミドルブロッカーに仕事をさせず、サイドの攻撃にブロックとレシーブを絞る事ができ、自分達のオフェンスに繋げる事で点数を取り、勝利することができた。ホームゲームでの戦いではいつも色々な方にサポートしていただき感謝しております。明日は交流戦最後の試合となります。チーム一となり、どんな時も勇気をもってチャレンジして行きます。応援ありがとうございます。	25	第1セット	17	0	監督コメント 今日は、JTマーヴェラスとの初戦でしたが、試合の中で流れを変えるプレーや積極的な攻め方ができず、自分達で崩れてしまいました。また、相手の粘るスパイクレシーブや速い攻撃に対応できずに乱された展開となり、終始自分達のバレーができませんでした。良い状態ではないときこそ崩れずすぐ立て直し、コート内の雰囲気にもっと活気を出せるようにしていきたいです。明日もご声援の程宜しくお願い致します。
	25	第2セット	16		
	25	第3セット	19		
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームゲームで勝利を狙うJTマーヴェラスが日立リヴァーレを迎えての1戦。第1セット、序盤JTはドルズのスパイクやサービスエースでリードする。中盤15-15と日立が追いつくも、JTは小川、橋井のスパイクポイントでリードを広げJTが25-17で先取した。第2セット、JTが5連続ポイントからリードを奪った。中盤、日立も窪田、長内のスパイクポイントで粘りを見せたが、リズムに乗ったJTが25-16でセットを連取した。第3セット、後の無い日立は長内のスパイクで4-0とリードする。JTは小川や田中(瑞)のスパイクポイントで応戦し中盤に追いつくと、その後1点ずつを取り合う展開となったが、最後はJTが突き放し、25-19でセットを奪いセットカウント3-0でホームゲームを勝利で飾った。					

試合番号 : 388	試合会場 : 加古川市立総合体育館	観客数 : 1,350				
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:23	試合時間 : 01:23				
主審 : 北村 友香	副審 : 沢田 元					
KUROBEアクアフェアリーズ 通算 1勝 14敗 ポイント: 5		ヴィクトリーナ姫路 通算 3勝 10敗 ポイント: 10				
監督コメント 初めての対戦となるヴィクトリーナ姫路でしたが、各セットとも出足からイブナ選手の強烈なライトからのスパイクに苦しめられ、なかなか自分たちのリズムがつかめませんでした。サーブレシーブでリズムをつかみかけたが、つなぎのミス、スパイクミスで、最後まで追いつくことができませんでした。明日の日立リヴァーレ戦でもう一度、自分達のプレーを見直し、先につながる戦いをしたいと思えます。今後とも、ご声援よろしくお願いいたします。	20	第1セット	25	0	3	監督コメント 今日は熱い応援をありがとうございました。姫路から足を運んでくださった皆さんや、いつも応援してくださるファンの皆さんに勝利を届けることができて本当に良かったです。今日の試合は、ブロックとレシーブの関係が非常に良かったです。オフェンス面ではコースの甘さ、チーム全体として、中盤から後半にかけての連続失点は、ゲームを支配する上で非常に苦しい。連続失点を無くすように、修正できるところはしっかりと修正したいです。明日も、ご声援よろしくお願いいたします。
	20	第2セット	25			
	20	第3セット	25			
		第4セット				
		第5セット				
要約レポート 1つでも多くの勝利を掴みたい両チームの初めての対戦。第1セット、ヴィクトリーナ姫路のイブナが強烈なスパイクで連続得点し、リードする展開となった。姫路はその後も貞包、吉岡、長野が次々とブロックを決め点差を広げた。一方、KUROBEアクアフェアリーズは雪丸のブロード攻撃をきっかけに流れを変え、舩田の攻撃で4点差まで追いつくも姫路が逃げ切った。第2セット、イブナが前・後からスパイクを決め姫路が流れを掴むも、KUROBEは舩田が相手ブロックを巧みに利用して得点を重ねもつれる展開となった。終盤、姫路のチャレンジが成功しセット連取につながった。第3セット、後がないKUROBEは白岩、綿引のスパイクや丸山のサーブで得点し詰め寄る場面も見られたが、崩れても次のラリーで取り返すことを最後まで徹底した姫路が今シーズン3度目の勝利を手にした。						

試合番号 : 389		試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,370	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:08		試合時間 : 02:08		主審 : 増岡 三佳子	
副審 : 西中野 健		通算		通算		通算	
岡山シーガルズ		9勝 4敗 ポイント: 26		21 第1セット 25		埼玉上尾メディックス	
監督コメント		3		1		監督コメント	
要約レポート		3		1		監督コメント	

第1セット、やや真面目過ぎる展開で流れていったが、第2セットからは宇賀神が嫌な流れを断ち切って宮下(通)へと絶妙なバントタッチができたのが、勝利のポイントだった。
相手の粘りのバレーと多彩な攻撃の中、第2セット後半からやっとなポイントを含めることができ、一人一人の対応性が出来てきたことが良かった。
明日も更に進化したシーガルズをお目にかかれるように頑張りたい。
本日も寒い中、たくさんおご声援ありがとうございました。明日もよろしくお祈りします。

今日は第1セット、サーブで崩してブロックを機能させて、点数を取ることができた。しかし、第2、第3セットはサーブで攻める事が出来ず、苦しい時間帯から抜け出すことができなかった。第4セットは、改めて攻めに転じたが、岡山の粘りあるディフェンスに対し、終盤に入っても攻めきることが出来なかった。
今日の試合で出た課題を成長の糧として、更なるチームの成長に繋げていきたい。
明日は交流戦最終戦です。良い形で終えて、3レグに入れるよう調整していきます。
明日も応援よろしくお祈りします。

交流戦4連勝の埼玉上尾メディックスと3勝1敗の岡山シーガルズの間調なチーム同士の対戦。
第1セット、序盤から埼玉上尾が攻めるサーブで岡山を翻弄し点数を重ねた。岡山は埼玉上尾の吉野、佐藤、シュシュニヤルを中心とした攻撃に対応できず、終始埼玉上尾リードのまま進み、埼玉上尾がセットを先取した。
第2セット、序盤から岡山はリベロ丸山の度重なる好守備により、攻守がかみ合い一進一退の展開で進んだ。終盤、埼玉上尾は大事な場面でミスが出て同点となり、一気に流れを掴んだ岡山がデュースに持ち込み、そのままセットを奪い取った。
第3セット、序盤から前のセットの流れのまま岡山先行で進んだ。中盤に埼玉上尾も4人の選手交代により巻き返しを図るが、岡山の渡邊、及川のブロックポイントで点差を広げ連取した。
第4セット、埼玉上尾がシュシュニヤルのサーブにより岡山の守備を乱し中盤で4点差をつけた。終盤、岡山は高野、佐々木の攻撃で流れを取り戻し、19-19の同点となり、それ以降岡山は、堅い守備から緩急をつけた攻撃で埼玉上尾を突き放し、ホームの大音量に励んだ岡山が勝利をもぎ取った。

試合番号 : 390		試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,100	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:53		試合時間 : 01:53		主審 : 佐々木 伸子	
副審 : 中山 健		通算		通算		通算	
久光製薬スプリングス		6勝 7敗 ポイント: 18		23 第1セット 25		トヨタ車体クインシーズ	
監督コメント		3		1		監督コメント	
要約レポート		3		1		監督コメント	

交流戦も最終週となり、カンファレンスの違うチームとの戦いになるので、入念に準備して臨んだ。
試合序盤はパワーバレーの相手に苦しめられる展開となったが、試合の中で修正し、抑えることができた。
また、途中出場の選手達が奮起し、勢いのあるプレーで試合の流れを大きく変え、勝利へと導いてくれた。チーム一丸となって掴んだ大きな勝利だったと思う。この勢いを活かして明日も戦いぬきたい。
気温も下がりがり寒くなりましたが、その寒さに負けないほどの熱い応援、ありがとうございました。

経験豊かな選手と有望な若手を多数擁する久光製薬スプリングスとの一戦。
互いに気力を振り絞って戦い、どのセットも競った展開となった。あと数点をいかにして奪うか工夫をこらし、切り替えて明日また元気いっぱいのクインシーズをお見せできるように準備していきたい。
明日は交流戦最終日、岡山のファンの皆様と熱く戦いたいと思います。
ご声援よろしくお祈りいたします。

第1セット、序盤は両チームとも譲らぬ接戦となった。中盤にトヨタ車体クインシーズは内瀬戸が連続スパイクを決めて流れをつかむ。久光製薬スプリングスは途中交代で入った中川がスパイクを決めて追い上げるが、最後はトヨタ車体の渡邊がスパイクを決めて、セットを先取した。
第2セット、両チーム一進一退の攻防が続き、トヨタ車体はネリマンがブロックを決めて、一度はリードする。久光製薬は新鍋、小島が連続ブロックを決めて一気に流れをつかみ、野本、新鍋らのスパイクも冴え、逆転でセットを奪い返した。
第3セット、トヨタ車体はネリマンがサービス、スパイクを決めてリードを奪い、中盤も荒木のブロックで試合を有利に進め5点差を付けた。しかし、終盤に久光製薬は石井がアタック、ブロックを連続で決めて徐々に点差を詰めて、ファビアナがスパイク、ブロックを連続で決めて更に突き放し、そのままセットを奪った。
第4セット、久光製薬は石井をスターティングメンバーで起用し、引き締まった展開となる。久光製薬は中川の連続サービスエースで突き放すと、トヨタ車体も荒木のブロックなどで追い上げ、終盤まで両者譲らぬ展開となった。最後に久光製薬は石井がアタックを決めて接戦を制し、勝利を飾った。

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
-		- 勝 - 敗 ポイント: -		第1セット		-	
監督コメント		-		-		監督コメント	
要約レポート		-		-		監督コメント	

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		通算		通算	
-		- 勝 - 敗 ポイント: -		第1セット		-	
監督コメント		-		-		監督コメント	
要約レポート		-		-		監督コメント	